

第 215 回  
定例探鳥会

日時：2004 年 11 月 14 日 (日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 高麗山 八俣山 浅間山

相変わらず集合時間から、出発して山に入る前の神社周辺で山を外から見ている状態が一番よく鳥が見られるようです。

今日もシメ、イカル2羽これは姿が良く見えて参加者全員が見ることが出来ました。山の上空にはノスリ、トビ、山の中腹をツグミ16羽が横切っていく。神社脇の藪からはアオジの地鳴きが聞こえてくる。いつもながらここでジッと見ていたらかなりの鳥が見られそうです。

山の中に入っていくと鳥の鳴き声は少なく、姿もあまり見えませんでした。植物に詳しいメンバーから植物の説明など聞きながら(白い小さなメロンのようなスズメウリの説明等)歩きましたが、カラ類の混群にも会えずに大堂まで到着。休憩しながら上空をチェックするとハイタカ、ヒメアマツバメが舞っていました。前日の鷹取山のカウントではククイタダキがでたそうなので針葉樹はチェックしながら来ましたが、ここまではまだ出ていません。

浅間山に入る坂道に来ると数人の人が登山道脇の杉の木にいるククイタダキを発見。私は声だけ。しばらく声はしたのですが再発見はできず残念でした。湘南平の松が枯れなければ今年には観察できるのですが、枯れてしまったので残念です。

浅間山まで観察して鳥合わせ、冬鳥もだいぶ来ているようです。

解散してから先ほどのククイタダキの場所に来るとまた声がしていました。しばらく観察していましたが姿は見れず、今年はカウントでもククイタダキ、ヒガラなどが出ていますので楽しみです。

参加者

参加人数 27 名 (敬称略)

- |            |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 小野 肇    | 2. 八木 正    | 3. 鈴木 逸子   | 4. 山下 勝司   | 5. 古尾谷 七郎  |
| 6. 下倉 紘一   | 7. 山田 文則   | 8. 福持 日出夫  | 9. 石原 遼    | 10. 木田 ハマ  |
| 11. 大谷 秋代  | 12. 森田 義雄  | 13. 吉田 敬一  | 14. 松下 弓子  | 15. 紺 龍彦   |
| 16. 関谷 育雄  | 17. 関谷 昂   | 18. 富田 和之? | 19. 加藤 修一  | 20. 岩沢 登志子 |
| 21. 別所 三郎  | 22. 沢田 興三  | 23.(田端 裕)  | 24.(岩佐 昌夫) | 25.(内山規矩雄) |
| 26.(金子 典芳) | 27.(斎藤 常實) |            |            |            |

見聞きした鳥

種類数 23 種 (ドバトを含む)

- |            |            |            |          |         |
|------------|------------|------------|----------|---------|
| 1. トビ      | 2. ハイタカ    | 3. ノスリ     | 4. キジバト  | 5. ドバト  |
| 6. ヒメアマツバメ | 7. コゲラ     | 8. ヒヨドリ    | 9. シロハラ  | 10. ツグミ |
| 11. ウグイス   | 12. ククイタダキ | 13. シジュウカラ | 14. ヤマガラ | 15. メジロ |
| 16. ホオジロ   | 17. アオジ    | 18. カワラヒワ  | 19. シメ   | 20. イカル |
| 21. スズメ    | 22.ハシボソガラス | 23.ハシブトガラス |          |         |

## 市民探鳥会レポート

11月23日(火)勤労感謝の日に第49回市民探鳥会「鷹取山・吉沢自然観察会」が行われました。早朝からきれいに晴れわたって風もなく、気温も暖かくなるということで絶好のハイキング日和です。第1の集合場所、平塚駅北口に集まった人数はいつになく多く21名でした。いつもは貸し切り状態のバスですが、西生沢へミカン狩りに行くという団体と乗り合わせ、ラッシュアワーを思わせる超満員となりました。第2の集合場所生沢に着くと、ここにも大勢の方が集まっていました。名簿に記入してもらおうと、なんと71名になりました。湘南新聞に掲載したり、湘南ケーブルテレビで案内テロップを流したり、宿場まつりでチラシを配った効果があったのでしょうか、参加者数としては歴代第2位の記録です。こまたんホームページで知ったという方も数名いらっしゃいました。一番の遠方は東京の亀戸から見えた方です。今回のテーマは秋の季節に合わせて、鳥だけでなく木の実も観察することにしました。谷戸川沿いの緩やかな上り道をゆっくりとたどっていくと、沢の岸に黒っぽい塊が落ちています。スコップで覗くとハクビシンの死骸でした。この山で見たのは初めてです。そこから少し行ったところで、スギの梢近くで動く影を見つけました。キクイタダキです。すばやく動き回るので、みなさん双眼鏡で捉えるのに苦労していましたが、時々ホバリングしたり、一瞬全身が見えたりするので確認できました。頭の黄色い模様を見た人も何人かいました。ヒガラも一緒にいたようです。近くではオオタカ、ノスリが悠然と舞っている姿も観察できました。谷戸川沿いの道から離れて、いつものコースは草が生い茂って通ることができないので、舗装された道に迂回しましたが、この道はゴミの投棄が目立ちチョッピリいやな気分になりました。気を取り直して歩いた鷹取山への途中では、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、コゲラなどおなじみの鳥が迎えてくれました。ルリビタキのヒッヒッヒッという声も聞こえましたが、姿は見ることはできませんでした。鷹取山に付くとすでに数人の人がお弁当を済ませていました。聞いてみるとコースを勘違いしてはぐれてしまったと思って、1時間近くも早く着いてしまったそうです。幹事として、案内の不備を反省しなければなりません。鷹取神社での昼食の後は鳥の声や姿もまばらになってきたので、紅葉を眺めながら好天の空の下の快適な散策を楽しみました。予定通り午後2時半頃に終点の松岩寺に到着です。鳥合わせをすると34種が観察されました。ツグミの間は見られませんでした。冬鳥が順調に到着していることを確認できました。



参加者数 71名 観察種数 34種

### 【見聞きした鳥】

トビ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ、コジュケイ、キジバト、ドバト、コゲラ、アオゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ウグイス、キクイタダキ、エナガ、ヒガラ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、シメ、イカル、スズメ、カケス、オナガ、ハシブトガラス、ソウシチョウ、ガビチョウ

# 大磯町文化祭

秋のこまたん参加の大きなイベントの一つ「大磯町文化祭」が11月27日(土)と28日(日)に滄浪閣で開催されました。会場は例年と同じ2階の階段を上がってすぐの部屋を、いつも一緒の大磯星の会と半分ずつ使用しての展示です。事前の入念な打ち合わせとパネル作成のおかげで、準備開始の30分後には展示が完了してしまいました。今年のテーマは『アオバト研究史』、『こまたんアオバトの謎に挑む』、『ティンが見たアオバト、大磯そして丹沢』が3本柱で、その他には石原遼君の丹沢と北海道の温泉調査、吉田敬一さんのアオバト写真、吉田宣子さんのアオバトのカービングも展示しました。



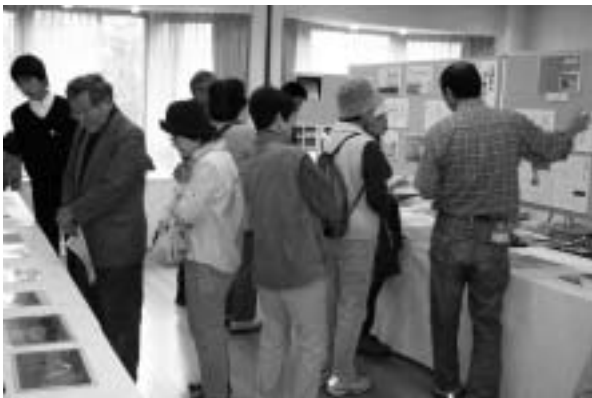
『アオバト研究史』はアオバトを世に知らしめ、名付け親でもあるシーボルトからはじまり、日本でのアオバト観察の先駆者であり、こまたんにも大きな影響を与えた佐々木勇氏と永田洋平氏の功績を、ライデン博物館のアオバト標本の写真、数々の文献・図表などを使って説明しました。

『こまたんアオバトの謎に挑む』は、1992年の「大磯照ヶ崎海岸におけるアオバトの生態」、1993～1994年の丹沢総合調査、それに続く神奈川支部のBINOSに発表した調査、「アオバトのふしぎ」刊行などをパネルと文献の実物で展示しました。

『ティンの見たアオバト、大磯そして丹沢』は、東郷なりさ(愛称ティン)さんの素晴らしい絵による大磯アオバトマップ、照ヶ崎のアオバト、宿場まつり、ティンさんが歩いた丹沢の3コースの絵入りの地図に

よる紀行レポートの展示です。ティンさんのアオバトの絵を使った絵はがきも販売しました。

大磯ではアオバトは広く認知されてきているようで、見にくられたほとんどの方はアオバトを見たことがあるとっていました。一番注目を集めたのはティンさんの絵で、高校生が描いたと説明するとビックリしていました。絵はがきの売れ行きも好調で約80セットが完売しました。石原君のレポートも好評で、中学生が調査したというと感心する人が多かったようです。



## 【お知らせ】

### 定例カウント調査

吉沢 & 土屋 1月8日(第2土曜日)

鷹取山 1月15日(第3土曜日)

午前7時に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散(吉沢・土屋コースは13時頃になる可能性があります)。雨天中止

**注意...2005年1月は1日が第1土曜日ですが、お正月のために第2と第3土曜日に変更します。**

### 問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

## 鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

### アオバト情報

#### 照ヶ崎への飛来情報

アオバトの終認が話題になる時期となってきました。今のところ、こまたんの観察では11月7日の10羽が最後となっています。小野(肇)さんによる6時～9時の観察では、6:50の5羽と8:10の5羽が観察されました。7日以降の記録をお持ちの方は連絡をお願いします。

#### その他の場所でのアオバト情報

- 8/17 東京都江東区・荒川河口付近、1羽が飛んできた
- 11/29 山北町平山、山道の異なる3ヶ所で新しい羽を拾う。下尾筒、脛毛、小雨覆
- 12/1 平塚市土屋霊園駐車場、7:45と7:50の2回、北東方向から声が聞こえた
- 12/2 横須賀市田浦大作町、標高80mくらいの山道で1枚の羽(大雨覆)を拾う

### 花水川・平塚大橋のサギねぐら調査

観察日	コサギ	ダイサギ	アオサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
11/16	66	0	3	3	72	約5000
11/17	73	1	7	3	84	約6000
11/20	96	9	2	0	107	約6000
11/21	70	7	5	4	86	約3500
11/22	46	4	3	0	53	約6500
11/25	28	6	2	0	36	約3000
11/29	56	4	1	0	61	約4000
12/3	20	4	1	0	25	約5000

### その他の野鳥情報

- チョウゲンボウ：11/12 花水川・平塚大橋付近、サギの観察をしているとねぐら入りを計って飛び回るムクドリの群れの近くに出現。数十羽のムクドリの群れが追い払うような行動をした
- タヒバリ：11/17 吉沢、牛糞で6羽が採餌、吉沢での初認。12/4 土屋・遠藤原、畑地で16+羽を観察
- キクイタダキ：11/17 鷹取山、鷹取神社に続く尾根道でスギの梢で2羽を確認  
その後、吉沢でも記録されている
- ルリビタキ：11/17 吉沢・吉沢の溜池付近、この地域での今シーズンの初認、ヒッヒッヒッと鳴いていた。  
その後、吉沢、鷹取山で多数が記録されている。11/20 山北、林道のアチコチで鳴いていた
- カヤクグリ：12/1 土屋・愛宕山付近のゴミ堆積場跡で1羽を確認
- カラウヒワ：12/2 平塚市北豊田、朝6時頃、湘南車検場付近の高圧電線に300+羽がとまっていた
- ツグミ：12/4 土屋・遠藤原、25+羽が畑地に降りていた。上空を飛ぶ姿や吉沢・鷹取山の林の中では確認されていたが、平地での記録は今シーズン初

今回の定例探鳥会は2005年1月9日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第214号 / 12月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>  
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>